

## 平成 29 年度 第 2 回三重県河川整備計画流域委員会 議事要旨

日時：平成 29 年 6 月 27 日（火）

13 時 30 分～17 時 00 分

場所：アストプラザ 4 階 研修室 A

1. 開 会
2. 主催者挨拶
3. 議 事

- (1) 奥川水系河川整備計画（原案）について説明をし、次のような意見をいただいた。
  - ・ 新規で津波対策水門を設置することとなるので、周辺の景観に配慮していただきたい。
  - ・ 植生図の調査年が分るように記載していただきたい。また、最新の情報となっているのかを確認していただきたい。
  - ・ 参考資料の環境調査結果は、現地調査結果と文献調査結果を別々に整理するのではなく、動植物の分類ごとに整理し、現地調査と文献調査の結果を併せて整理していただきたい。
  - ・ 「〇〇の 1 種が確認された」との表記だと「ある属のうち 1 種が確認された」のか「その種類のみが確認された」のか分りづらいため、表記を改めた方がよい。
- (2) 笹笛川水系河川整備計画（原案）について説明をし、次のような意見をいただいた。
  - ・ 過去に直線的な河川改修がなされ、多くの遺跡が失われているので、今後河川改修を行う際には、明和町とも相談して進めてもらいたい。
  - ・ 住民の中には、高潮と津波を混同される方もいるので、今後アンケートを行う際には気を付けてもらいたい。
  - ・ 河床を掘削する際には、工事のやり方によってかなり生態系に悪影響が出るので、一度に広範囲に渡り掘削するのではなく少しずつ進めたり、一時的に生物を避難させるなどの対策を行ってもらいたい。
  - ・ 干潟は、鳥類の採餌場となる等、多くの動植物にとって貴重な環境となっているので、動植物に対する配慮は慎重に行ってもらいたい。
  - ・ 外城田川支川の農業用水路では、環境に配慮するために左右岸で日程を分けて工事を行ったことにより、動植物への影響が少なかったので工事を行う際には参考にしてもらいたい。大堀川では、河川改修により魚類層が貧弱になったので、あのような改修は、やらないようにしてもらいたい。
  - ・ 整備計画（原案）には、河床を平坦にしないと記載されているが、ある種の二枚貝は砂質の川底を好む等、生物によって必要な河床材料も変わってくるので、河床材料についても留意してもらいたい。
  - ・ アンケートでは「散歩や水遊び等を楽しめるようにして欲しい」等の意見が多いので、具体的な計画を整備計画（原案）に記述することを検討してもらいたい。
  - ・ 整備計画（原案）に L 2 津波により浸水被害が起こるため、ソフト対策により被害を最小限に抑えると記載されているが、L 1 津波においても浸水被害が発生するので、

そのことも明記したほうがよい。

- (3) 田中川水系河川整備計画（原案）について説明をし、次のような意見をいただいた。
- 防潮水門閉鎖時に浸水被害が発生したのであれば、防潮水門閉鎖時における対策も検討すべきである。
  - 現況流能力図と整備後の流下能力図を比較すると、整備後で流下能力が低下している箇所があるので、確認していただきたい。
  - 防潮水門が常時閉鎖されていることで水質が悪くなっていると思われるため、運用面で検討いただき、可能であれば平常時における干潮時の水門開放などで水質改善を図っていただきたい。
  - 参考資料で、園芸種に関する記載を追加しているが、本来この地域に自生していない植物であることを説明した方がよい。また、メッシュデータ等の広範囲のエリアで整理されたデータであれば、本当に流域内に生息しているのか調査した上で重要種と記載していただきたい。

#### 4. 閉 会